

令和3年12月15日

保護者 様

四街道市立和良比小学校
校長 伊藤 友江

令和3年度 前期 学校評価アンケート（保護者用）の結果について

師走の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、10月に実施した学校評価アンケートでは、保護者の皆様からたくさんの貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。下記のとおり結果と考察等をお知らせいたします。

皆様からいただいたご意見を今後の学校経営に活かしてまいります。今後とも本校の教育活動へのご理解・御協力をよろしくお願いいたします。

記

1 集計結果

回答数436名（回答率74%）

No.の○印：昨年度と同じ項目 ↑：昨年度後期より2%以上向上 ↓：昨年度後期より2%以上下降

A：そう思う B：だいたいそう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない E：わからない *数字は%

No.	質問項目	A	B	C	D	E	肯定的 評価 A+B
①	学校は、児童にとって、楽しく学習したり友達と過ごしたりする場所になっている。	53	43	3	1	1	96
②	学校は、児童の学校生活について、保護者に必要な連絡や相談活動を適切に行っている。	39	53	6	1	1	↑92
3	学校は、一人一人の児童をよく理解し、児童の心情に寄り添った指導・支援をしている。	28	56	11	2	3	84
4	学校は、あいさつのできる児童を育てている。	28	56	12	1	4	84
5	学校は、相手の立場や気持ちを考えられるなど、児童の思いやりの心を育てている。	24	62	7	1	6	86
6	学校は、児童の善悪の判断力や規範意識を育てている。	25	60	8	0	6	85
7	子どもは、授業が楽しくわかりやすいと言っている。	27	52	13	3	6	79
⑧	学校は、児童に基礎学力を身に付ける取り組みを行っている。	32	59	4	1	4	↓91
⑨	学校は、児童に宿題や家庭学習、授業の準備を行う等、学校生活に必要な習慣が身に付くように働きかけている。	32	57	6	2	3	↑89
⑩	学校は、一人一人の児童に応じた必要な指導・支援（特別支援教育）を行っている。	25	53	12	2	8	↑78
⑪	学校は、児童の健康的な生活や体力向上のための取り組みを行っている。	26	55	14	2	3	↓81

⑫	学校は、児童の安全に関する意識を高めるための指導や訓練を行っている。	37	56	5	0	2	↑93	
⑬	学校は、いじめの防止や早期対応に対する取り組みを行っている。	30	52	6	0	11	82	
⑭	学校の環境は、教育活動を行う場としてふさわしい環境に整備されている。	36	55	5	0	5	↓91	
⑮	学校は、保護者や地域と協力して教育活動を行っている。	31	56	7	0	5	↑87	
⑯	学校は、たより等で教育活動の様子を適切に伝えている。	43	50	5	1	1	↓93	
17	P T A活動の内容がたより等で適切に各家庭に伝えられ、理解しやすいものとなっている。	28	56	11	2	4	84	
							平均	87

2 考察

【成果】

- ・肯定的な評価の全体平均は87%で、昨年度後期とほぼ同程度でした。昨年度と同じ項目である11項目のうち、昨年度後期に比べ2%以上高い評価をいただいたものが5項目ありました。
- ・昨年度後期と比べ、特に高評価をいただいたのが、No.2 (+6%)とNo.15 (+4%)です。家庭との連携を強化して、学年を中心としたチームで児童の支援にあたることを今年度の重点としています。今後も、学校と家庭、地域が情報共有をしながら、共に子どもたちを育てていく姿勢を大切にしたいと考えます。
- ・No.1については、全体で最も高い評価となりました(昨年度比は+1%)。コロナ禍で、活動に制限が多い中でも、学校が子どもたちにとって楽しく過ごすことができる場になっているという結果に、安堵しました。引き続き、教職員一同でアイデアを出し合い、感染症対策を講じながら各教育活動の目的を達成する方法を工夫していきます。

【課題】

- ・昨年度後期と比べ、最も評価が下がったものが、No.11 (-10%)でした。コロナ禍で、陸上練習や水泳学習を行うことができなかったこと、緊急事態宣言中の9月は体育の授業や外遊びを見合わせたこと、運動会の内容を縮小したことなどにより、全体的に体を動かす機会が少なかったことからの結果と受け止めています。感染状況を見ながら、可能な範囲で効果的に体力の向上を図ることができるよう、努めていきます。
- ・No.3~No.7の今年度から新しく設けた項目については、どれも取り組みが不十分であることがわかりました。特にNo.7については評価が低くなっています。「わかる授業づくり」を今年度の重点としていますので、授業改善に力を入れていきたいと思えます。
- ・No.10(特別支援教育)、No.13(いじめ防止の取り組み)は、「わからない」という回答が多かったため、「学校だより」や「校長室だより」を通して、情報提供に努めていきます。
- ・今年度より回答方法を紙媒体からマイクロソフト Teams を利用してスマートフォンやパソコンによる回答に変更したことが影響したのか、回答率が例年に比べて低くなりました。後期のアンケートでは、QRコードを載せた回答依頼文書の配付と併せて、配付日にマチコミメールでURLお知らせし、より多くの方に回答していただけるようにしていきます。

令和3年度 前期 学校評価アンケート（職員用）の結果について

1 集計結果

No.の○印：昨年度と同じ項目 ↑：昨年度後期より2%以上向上 ↓：昨年度後期より2%以上下降

A：よくあてはまる B：あてはまる C：あまりあてはまらない D：全くあてはまらない *数字は%

No.	項目内容	A	B	C	D	肯定的評価 A+B
1	学校教育目標、経営の方針、今年度の重点を常に念頭に置いて職務を遂行している。	14	83	3	0	97
2	今年度のスローガンを意識して指導を行っている。 (挨拶、思いやり、自主性)	41	59	0	0	100
3	安全で安心な学校であるよう安全点検と、避難訓練などを含む安全教育を実施している。	55	45	0	0	100
4	こども・家庭・地域から信頼される学校づくりを目指し、情報発信や地域資源の教材化、外部機関との連携した学習活動を行っている。	10	55	35	0	65
5	PDCA サイクルを実践し、教育活動の改善と質的向上を実現している。	10	83	7	0	93
6	「全ての教職員で児童を育てる」という視点で共通指導、共通行動、情報共有に努めている。	34	62	4	0	96
7	校務分掌の役割を果たし、職員どうし協力して職務にあたっている。	21	72	7	0	93
⑧	基礎基本の定着を図るとともに、わかる授業を実践している。	14	83	3	0	↑97
⑨	年間指導計画に基づき、計画的に授業を行っている。	17	76	7	0	↑93
10	学習課題を青枠で明記し、児童が主体的に取り組めるような指導の工夫、改善に努めている。	41	55	4	0	96
11	ICT 機器を効果的に活用しながら、各教科等において深い学びに向けた授業改善に努めている。	28	44	28	0	72
12	朝読書を確実に行うとともに、読書活動の充実を図るために図書室等を利用した活動を行っている。	34	55	11	0	89
⑬	全教育活動を通じた道徳教育の推進を、意図的に行っている。	17	69	14	0	86
⑭	指導のあり方や実践について、児童の実態を考慮し、計画的に進めている。	17	76	7	0	↑93
15	いじめや児童虐待、問題行動の早期発見の重要性を理解しチームで適切に対応している。	41	59	0	0	100
16	教育相談を充実させ一人一人の心情に寄り添った指導・支援をしている。	24	76	0	0	100

①7	生徒指導上の課題について、全職員共通理解のもと課題解決に当たっている。	24	69	7	0	93
18	黙働清掃の意義を理解し、清掃指導の充実に努めている。	10	86	4	0	96
19	ユニバーサルデザインの視点からの授業づくりを実践している。	7	83	10	0	90
20	児童の実態を的確に把握し、個に応じた指導・支援の充実に努めている。	10	83	7	0	93
21	学校行事や児童会行事等に、児童が主体的に取り組めるよう指導・支援している。	14	76	10	0	90
22	委員会活動や係の仕事に児童が主体的に取り組めるよう、指導・支援している。	24	72	4	0	96
②3	校内研修に積極的に参加し、授業力の向上のために取り組んでいる。	28	69	3	0	97
②4	組織的な研修の進め方を理解し、ブロック別の研修等を協力的・意欲的に行っている。	17	62	14	7	↓79
②5	自己の課題を把握し、校外の研修に参加する等、自己研鑽に取り組んでいる。	14	69	17	0	83
②6	常に児童の健康状態を把握している。	48	48	4	0	96
②7	日頃から、児童の運動に取り組む態度の育成や体力向上に向けた指導を行っている。	10	69	21	0	↓79
28	食育や歯科指導等、心身の調和的な発達を図るための指導を行っている。	7	72	21	0	79
②9	児童の危機管理能力の向上のため、交通安全指導、避難訓練、ワンポイント避難訓練等の安全指導を行っている。	34	66	0	0	↑100
③0	校舎内外の施設・設備を完全に使用できるように、点検・対応を行っている。	31	62	7	0	93
31	保護者会・個人面談等を、学校と家庭との連携を深める機会として活用している。	31	69	0	0	100
32	家庭への通信（学校・学年だより、保健・給食だより、電話など）を、適切に行っている。	38	62	0	0	100
③3	モラールアップ研修等を計画的に行い、規範意識の高い職場を作るとともに、相談し合える職場環境の醸成に寄与している。	10	80	10	0	↓90
③4	サービス規定や職場の約束事、不祥事根絶に関する取り組みを全職員が理解し、実践している。	31	66	3	0	97
35	業務の効率化に努め、勤務時間を意識して業務を遂行している。	7	35	55	3	42
③6	机上整理や電話の対応など、一社会人として、また、公務員として必要な振る舞いを実践している。	10	80	10	0	90

令和3年度 学校関係者評価（前期）

A：そう思う B：だいたいそう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない

項目	評価	評価内容
学校運営	A	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策として登校時の検温実施、飛沫防止シートの活用、給食の黙食等を実施して学校閉鎖することなく学校運営ができたことは良かった。 ・保護者と職員の学校評価の結果には温度差があるが、「学校は児童にとって学習・友達の場所になっている」が保護者から高評価を得たことが一番の成果である。
学習指導	B	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の自己評価では、ICT機器の活用の項目についての評価があまり高くなかった。ICT機器の活用は、今後もさらに期待されると思われるので効果的な活用ができるよう、職員の指導力の向上や保護者への働きかけも大事になってくると思われる。 ・学習に対する目的意識や必要性を持たせ、児童が意欲的・主体的に取り組めるよう指導方法の工夫・改善を図っていた。
学校行事等	A	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中、運動会の縮小、体育授業や外遊びを見合わせたと聞いたが、結果的に大事に至らなかったことは大変評価できる。 ・運動会開催にむけての工夫、日帰りの修学旅行等、制限のある中、できる方法へのチャレンジは子ども達にとっても良い教訓になったと思う。 ・入学式や運動会、校外学習等は、環境の状況に応じて適切な判断をしていた。
生徒指導	B	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ撲滅キャンペーンの取組を通して、全校児童が気持ち良く過ごすために言葉遣いに気を配ることや困っている友達に進んで声をかけること等について意識させる指導が行われていると感じた。 ・学校スローガン『自分から進んでさわやかあいさつ』を掲げているが、朝の見守り時の様子・状況だとまだまだの印象を受ける。 ・児童に対して様々な指導・支援がなされていると思う。特に、教育相談では、教員の意識の高さから、今後も一人一人の心情に寄り添った指導が期待される。 ・学区内での放課後や休日の児童達の自転車走行の危ない場面を見かけるので、適切な指導が必要である。
家庭・地域との連携	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校からの連絡について、理解・協力の要請を円滑に進めるためにも早めの情報発信に努めてほしい。 ・学区内の8自治会では、それぞれ独自に児童が参加できるイベントを通して地域の方々と接する機会を作ろうとしているが、コロナ禍であることや非自治会員の児童であることで参加しにくい状況である。これらの課題をどのように克服するのか大きな課題である。 ・昨年度より市のゴミゼロ運動に制限がかかったが、今後解除された際は児童にも積極的に参加してもらいたい。 ・地域のお祭りや昔遊びなどが中止となり、地域との関わる機会が減り寂しい限りである。 ・家庭での学習時間に差があること、スマートフォンの使い方に関する家庭の意識も様々であることから、学校と家庭の連携が必要である。
児童の様子	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達は、落ち着いて学習している。 ・登校時の様子を見てみると授業中の様子が少し心配な児童もいるが、落ち着いて勉強している姿に安心した。 ・教室や廊下等に掲示された作品からも1年生から6年生までの成長、学習の成果を感じる。 ・マスクの着用、座席の間隔、飛沫防止シートの活用等で児童は不自由さを感じているだろうが、明るい笑顔が見られた。